

第22回 神奈川臨床甲状腺研究会

日 時：2025年1月29日(水) 19:00~20:50

開催形式：ハイブリッド形式

現地会場：崎陽軒本店

Web開催：ZOOM 配信

第22回当番世話人：山崎 春彦 先生

(横浜市立大学附属市民総合医療センター 乳腺・甲状腺外科)

共催：神奈川臨床甲状腺研究会/あすか製薬株式会社



プログラム

学術講演 19:00～19:15

チラーチン S 静注液 200 μ g の臨床成績について あすか製薬株式会社 東日本第 1 統括部 学術担当者

一般公演 19:15～19:45

座長：中野 賢英（昭和大学横浜市北部病院 外科・甲状腺センター）

講演 10 分・質疑 5 分

一般公演 1 19:15～19:30

① 若年発症原発性副甲状腺機能亢進症の 2 例

鈴木智裕¹⁾

横浜市立大学附属市民総合医療センター 乳腺・甲状腺外科¹⁾

一般公演 2 19:30～19:45

② 高 Ca 血症を契機に診断された PTHrP 上昇を伴う甲状腺髄様癌の 1 例

廣瀬拓哉¹⁾ 中山博貴¹⁾

平塚共済病院 外科¹⁾

特別講演 19:45～20:50

座長：山崎 春彦 先生（横浜市立大学附属市民総合医療センター 乳腺・甲状腺外科）

MEN の診断と治療

演者：吉田有策（東京女子医科大学 内分泌外科）

若年発症原発性副甲状腺機能亢進症の 2 例

鈴木智裕¹⁾

横浜市立大学附属市民総合医療センター 乳腺・甲状腺外科¹⁾

原発性副甲状腺機能亢進症は、副甲状腺の腺腫や過形成などにより副甲状腺機能が亢進し高カルシウム血症や低リン血症をきたす疾患であり、根治のためには外科的な副甲状腺切除が必要となる。有病率は全体の 0.1%以上と比較的高頻度な内分泌疾患で発症年齢は幅広いが、若年発症は稀である。今回、若年発症の副甲状腺機能亢進症に対して手術治療を行い根治が得られた 2 例を経験したので報告する

1 例目は 16 歳女性。倦怠感と血尿を主訴に前医を受診し、高カルシウム血症と尿管結石を指摘された。尿管結石の治療後に、精査加療目的で当科を紹介受診した。造影 CT 及び頸部超音波検査で甲状腺右葉背側に腫大した副甲状腺を疑う結節を認め、^{99m}Tc MIBI シンチグラフィでも同様の位置に集積を認めた。他の検査で多発性内分泌腫瘍を疑う所見を認めず、原発性副甲状腺機能亢進症の診断で右副甲状腺摘出術を施行した。術翌日には速やかにカルシウムの値が正常化し、経過良好のため術後 3 日目に退院した。病理結果は腺腫に矛盾しない所見であった。現在術後 8 年が経過し、明らかな再発は認めない。

2 例目は 18 歳男性。尿管結石の治療目的に前医を受診し、精査の結果副甲状腺機能亢進症が疑われたため、手術目的に当科を紹介受診した。受診時のカルシウム値は 14.2 mg/dL と異常高値であり、外来でゾレドロン酸の点滴治療を行った。造影 CT 及び頸部超音波検査では甲状腺左葉背側に腫大した副甲状腺と考えられる結節を認め、^{99m}TcMIBI シンチグラフィでも同様の部位に集積を認めた。遺伝学的検査で多発性内分泌腫瘍は否定的であり、原発性副甲状腺機能亢進症の診断で外科的切除の方針とし、左上下の副甲状腺摘出術及び左傍気管組織摘出術を施行した。術翌日のカルシウムは正常範囲内まで改善を認めた。術後経過は良好で、術後 3 日目に退院した。病理結果は腺腫に矛盾しない所見であった。現在前医にて経過観察中であり、術後 2 年で明らかな再発は認めない。

高 Ca 血症を契機に診断された PTHrP 上昇を伴う甲状腺髄様癌の 1 例廣瀬拓哉¹⁾ 中山博貴¹⁾平塚共済病院 外科¹⁾

症例は 60 歳女性。

X 年 8 月に体重減少、易疲労感、頻脈、甲状腺腫大あり Basedow 病疑いとして当院内分泌内科を紹介受診した。

初診時に甲状腺右葉に 12cm の弾性軟で可動性良好な腫瘤を触知したが、甲状腺機能は正常 (fT3 2.58pg/mL, fT4 1.33 ng/dL, TSH 0.232 μ IU/mL) で TRAb は陰性であった。甲状腺の超音波検査では右葉に 10cm 以上の形状整、境界明瞭な充実性腫瘤を認めた。

バセドウ病は否定的であり、追加で検査したところ高 Ca 血症 (Ca 16.5mg/dL) と腎機能障害 (Cre 2.23mg/dL) を認めた。同日緊急入院とし、生理食塩水の補液とエルカルトニン 80 単位/日の投与を開始した。PTH の上昇は認めなかったが PTH-rP と CEA、カルシトニンの上昇あり (PTH 12pg/mL, PTH-rP 5.7 pmol/L, CEA 12243ng/mL, カルシトニン 160pg/mL)、悪性腫瘍に伴う高 Ca 血症が疑われた。CT では甲状腺右葉の腫瘤性病変以外に明らかな悪性を疑う所見なく、精査目的に当科紹介となり細胞診を施行したところ Class IV (髄様癌疑い) であった。

RET 遺伝子検査を施行したが変異は認めなかった。CEA 高値について上下部内視鏡検査なども施行したが悪性所見は認めず、PET-CT でも甲状腺右葉腫瘤以外に明らかな集積を認めなかった。

甲状腺髄様癌に伴う PTH-rP 上昇と高 Ca 血症と診断し、X 年 10 月に甲状腺右葉切除を施行した。病理組織学的検査で甲状腺髄様癌と確定診断された。術後 2 日目の時点で PTH-rP の低下し、その後も CEA、カルシトニン、PTH-rP は減少傾向であり、高 Ca 血症の再燃も認めていない。

今回、高 Ca 血症を契機に診断された PTH-rP 上昇を伴う甲状腺髄様癌の 1 例を経験したため若干の文献的考察を加えて報告する。(611)

MEN の診断と治療

吉田有策¹⁾

東京女子医科大学 内分泌外科¹⁾

多発性内分泌腫瘍症 (multiple endocrine neoplasia : MEN) は MEN1 型と 2 型に大別され、その構成疾患は異なる。MEN1 型は原発性副甲状腺機能亢進症、脳神経内分泌腫瘍、下垂体腺腫を発症し、MEN2 型は甲状腺髄様癌、褐色細胞腫、原発性副甲状腺機能亢進症を呈する。いずれも内分泌臓器に発症する腫瘍が原因であり根治治療は手術である。この中で内分泌外科医が治療を担当するのは主に原発性副甲状腺機能亢進症、甲状腺髄様癌、褐色細胞腫である。いずれの腫瘍も適切な診断による病状の把握と、適切な手術術式が求められる。

MEN に関連する原発性副甲状腺機能亢進症は、多発する病変が特徴的であり、摘出する副甲状腺の決定が最も重要である。病気の治癒を目的とするが、適切な治療でさえも永続性副甲状腺機能低下症という新たな悩みを生む可能性がある。甲状腺髄様癌の治療にあたる際には原則遺伝子変異の有無が検索されており、MEN2 か否かが明らかとなる。この際、褐色細胞腫合併の有無を必ず検索することが安全な治療計画をたてるために重要である。褐色細胞腫が存在する場合にはその治療が優先され、両側性褐色細胞腫の頻度が高いことから、副腎皮質機能の温存を目的に部分切除術を行うことが望ましい。当院での治療経験を含め、MEN の診断と治療について内分泌外科医の視点から論ずる。

第1回	2013年 10月31日	甲状腺疾患のプライマリーケア	座長	川崎幸クリニック 副院長 九島健二 先生
			演者	昭和大学藤が丘病院 内分泌・代謝科 教授 谷山松雄 先生
		甲状腺疾患と無機コード	座長	東海大学医学部付属病院 腎内分泌代謝内科 准教授 佐藤温洋 先生
			演者	医療法人社団 白寿会 田名病院 院長 阿部好文 先生
第2回	2014年 7月10日	甲状腺疾患に対する超音波 診断 Up to date	座長	昭和大学藤が丘病院 内分泌・代謝科 講師 大塚史子 先生
			演者	昭和大学横浜市北部病院 外科 教授 福成信博 先生
		ケースカンファレンス	座長	昭和大学藤が丘病院 内分泌・代謝科 教授 谷山松雄 先生
			演者	川崎幸クリニック 副院長 九島健二 先生
		甲状腺癌の基礎知識	座長	横浜関内わだクリニック 院長 和田修幸 先生
			演者	神奈川県立がんセンター 乳腺甲状腺外科 部長 吉田明 先生
第3回	2015年 3月5日	ケースカンファレンス	座長	横浜関内わだクリニック 院長 和田修幸 先生
		難治性バセドウ病に対する 術前コントロール	発表者	昭和大学横浜市北部病院 外科 助教 玉置秀司 先生
		甲状腺疾患合併妊娠の症例	発表者	長谷川内科クリニック 院長 長谷川眞 先生
		妊娠と甲状腺について	座長	昭和大学藤が丘病院 内分泌・代謝科 教授 谷山松雄 先生
演者	国立成育医療研究センター 周産期診療部 母性内科 荒田尚子 先生			
第4回	2016年 1月23日	ケースカンファレンス	座長	横浜関内わだクリニック 院長 和田修幸 先生
		気道感染症を契機に気道 閉塞に至った巨大甲状腺を 伴う甲状腺亢進症の1例	発表者	昭和大学藤が丘病院 内分泌・代謝科 講師 佐藤尚太郎 先生
		甲状腺機能低下症の治療	座長	昭和大学横浜市北部病院 外科 教授 福成信博 先生
演者	東邦大学医療センター大森病院 糖尿病・代謝・内分泌センター 客員教授 坪井久美子 先生			
第5回	2016年	ケースカンファレンス	座長	神奈川県立がんセンター 乳腺甲状腺外科

	7月13日			部長 岩崎博幸 先生
		当科における甲状腺微小癌の治療戦略	発表者	昭和大学横浜市北部病院 外科 講師 西川徹 先生
		Lenvatinib 治療で PR となった甲状腺未分化癌の1例	発表者	神奈川県立がんセンター 乳腺甲状腺外科 山崎春彦 先生
		ATA ガイドラインから見た甲状腺腫瘍癌の取り扱い	座長	昭和大学横浜市北部病院 外科 教授 福成信博 先生
			演者	神奈川県立がんセンター 乳腺甲状腺外科 医長 菅沼信康 先生
第6回	2017年 1月18日	ケースカンファレンス	座長	昭和大学横浜市北部病院 外科 教授 福成信博 先生
		診断が難しかった甲状腺機能亢進症	発表者	昭和大学藤が丘病院 内分泌・代謝科 助教 飯田達也 先生
		甲状腺機能亢進症の薬物治療	座長	長谷川内科クリニック 院長 長谷川眞 先生
			演者	川崎幸クリニック 副院長 九島健二 先生
第7回	2017年 7月19日	ケースカンファレンス	座長	さとう内科クリニック 院長 佐藤尚太郎 先生
		任意型検診で見られる甲状腺の結節病変の検討 ～PET 検査も含め～	発表者	ゆうあいクリニック診療部 部長 桑田有希子 先生
		腺腫様甲状腺腫に合併した血管腫の一例	発表者	聖マリアンナ医科大学 乳腺・内分泌外科 助教 岩谷胤生 先生
		甲状腺良性結節の臨床	座長	昭和大学横浜市北部病院 外科 講師 西川徹 先生
			演者	伊藤病院 副院長 杉野公則 先生

	1月19日	発表		講師 大塚史子 先生
		MIBI シンチ・甲状腺エコーにて多腺腫大が疑われた原発性副甲状腺機能亢進症の1例	演者	昭和大学藤が丘病院 内分泌・代謝科 助教 小泉剛 先生
		赤外線蛍光検出システムを用いた術中副甲状腺検出	演者	昭和大学横浜市北部病院 外科 講師 西川徹 先生
		原発性副甲状腺機能亢進症：診断と治療	座長	昭和大学横浜市北部病院 外科 教授 福成信博 先生
			演者	医療法人福甲会 やました甲状腺病院 理事長・院長 山下弘幸 先生
第9回	2018年 7月11日	症例報告	座長	昭和大学横浜市北部病院 外科 教授 福成信博 先生
		当院における放射性ヨード内用療法の現状	演者	神奈川県立がんセンター 乳腺内分泌外科 山崎春彦 先生
		複数回外来 30mCi RI-ablation を施行した症例の検討	演者	昭和大学横浜市北部病院 外科 助教 坂上聡志 先生
		バセドウ病のアイソトープ治療	座長	神奈川県立がんセンター 乳腺内分泌外科 部長 岩崎博幸 先生
			演者	野口病院 副院長・統括放射線部長 野口靖志 先生
第10回	2019年 1月23日	ケースカンファレンス	座長	昭和大学横浜市北部病院 外科 教授 福成信博 先生
		妊娠合併バセドウ病患者の1例	発表者	横浜労災病院 内分泌・糖尿病センター 洲之内亮 先生
		当科で経験した妊娠中の甲状腺手術	発表者	昭和大学横浜市北部病院 外科 准教授 福島光浩 先生
		甲状腺疾患と妊娠・出産 up-to-date	座長	横浜労災病院 内分泌・糖尿病センター センター長 齋藤淳 先生
			演者	東京予防医学協会 内分泌科 部長 百瀬尚子 先生

--	--	--	--	--

	7月17日			センター長 福成信博 先生
		チアマゾール内服後 関節 炎症を呈した1例	発表者	昭和大学横浜市北部病院 甲状腺センター 講師 遠藤慶 先生
		TRAb 陰性の甲状腺機能 亢進症に対する SPECT/CT の有用性	発表者	伊藤病院 内科 杉澤千穂 先生
		バセドウ病の薬物治療に ついて	座長	ゆるぎない愛の会中島内科クリニック 副院長 向笠浩司 先生
			演者	伊藤病院 内科 医長 吉原愛 先生
第12回	2020年 1月29日	ケースカンファレンス	座長	横浜市立大学附属病院 乳腺・甲状腺外科 診療講師 中山 博貴 先生
		Dicer1 症候群の一例	発表者	横浜市立大学附属横浜市民総合医療センター 乳腺・甲状腺外科 菅原 裕子 先生
		West 症候群に生じた甲状腺 乳頭癌の一例	発表者	横浜市立大学附属横浜市民総合医療センター 乳腺・甲状腺外科 佐野 太一 先生
		福島県県民健康調査 「甲状腺検査」からみえてきた 小児・若年者の結節性 甲状腺疾患の実像	座長	横浜市立大学附属横浜市民総合医療センター 乳腺・甲状腺外科 講師 益戸 功彦 先生
			演者	福島県立医科大学医学部 臨床検査医学講座 主任教授 志村 浩己 先生
第13回	2020年 7月8日 (中止)	症例報告 未決定		
		演題未決定	座長	昭和大学藤が丘病院 糖尿病・代謝・内分泌内科 教授 長坂昌一郎 先生
			演者	上條甲状腺クリニック 院長 上條桂一 先生
第14回	2021年 1月27日	症例報告	座長	横浜市立大学病院 外科治療学 講師 菅沼伸康 先生
		甲状腺に直接浸潤のみられた 脱分化型脂肪肉腫の1例	発表者	昭和大学横浜市北部病院 甲状腺センター 佐々木 栄司 先生
		針生検にて未分化癌を疑い 切除した微小浸潤型濾胞癌 の1例	発表者	神奈川県立がんセンター 乳腺内分泌外科 レジデント 村山大輔 先生
		甲状腺の病理と細胞診、最 近の話題	座長	昭和大学横浜市北部病院 甲状腺センター-外科 准教授 福島光浩 先生
演者	昭和大学横浜市北部病院 臨床病理診断科 教授 亀山香織 先生			
第15回	2021年	症例報告	座長	昭和大学藤が丘病院 糖尿病・代謝・内分泌内科

	7月7日			准教授 大塚史子 先生
		バセドウ病加療中にTRAb高値と甲状腺機能低下を示した症例	発表者	横浜労災病院 内分泌・糖尿病センター 渡邊一樹 先生
		無機ヨードで治療開始後にTSBAbs陽性の甲状腺機能低下症を呈した高齢者Basedow病の一例	発表者	昭和大学藤が丘病院 糖尿病・代謝・内分泌内科 講師 黄川恵慈 先生
		TRAb からみたバセドウ病診断と無痛性甲状腺炎の新分類	座長	昭和大学藤が丘病院 糖尿病・代謝・内分泌内科 教授 長坂昌一郎 先生
			演者	上條甲状腺クリニック 院長 上條桂一 先生
第16回	2022年 1月19日	症例報告	座長	横浜市立大学附属市民総合医療センター 乳腺・甲状腺 講師 益戸功彦 先生
		肺炎合併高Ca血症を伴う副甲状腺癌をECMO補助下で切除した1例	発表者	平塚共催病院 外科 豊田まどか 先生
		二次性副甲状腺機能亢進症に合併した左副甲状腺癌の1例	発表者	横須賀市立うわまち病院 外科 横山巨 先生
		副甲状腺疾患の診断と治療	座長	平塚共済病院 乳腺内分泌外科 部長 中山博貴 先生
			演者	国家公務員共済組合連合会 虎の門病院 副院長 竹内靖博 先生
第17回	2022年 7月13日	症例報告	座長	さとう内科クリニック 院長 佐藤 尚太郎 先生
		炭酸リチウムによる甲状腺機能異常	演者	昭和大学横浜市北部病院 甲状腺センター内科 講師 飯坂 徹 先生
		免疫チェックポイント阻害薬による甲状腺機能異常	演者	みなとみらいクリニック 院長 淡野 宏輔 先生
		免疫チェックポイント阻害薬による内分泌障害 Update	座長	昭和大学横浜市北部病院 甲状腺センター 准教授 國井 葉 先生
			演者	東京大学医学部附属病院 腎臓・内分泌内科 准教授 榎田 紀子 先生

	1月25日			乳腺・甲状腺外科 助教 山崎 春彦 先生
		当院での Selpercatinib の 使用経験-甲状腺髄様癌 (MEN2B)の1例-	発表者	横浜市立大学附属病院 乳腺・甲状腺外科 角谷 芽依 先生
		進行甲状腺癌におけるがん遺 伝子検査	発表者	神奈川県立がんセンター 乳腺内分泌外科 戸田 宗治 先生
		遺伝子パネル検査と がんゲノム医療	座長	横浜市立大学 外科治療学 講師 菅沼 伸康 先生
			演者	国立がん研究センター中央病院 臨床検査科 医員 角南 久仁子 先生
第19回	2023年 6月28日	症例報告	座長	神奈川県立がんセンター 内分泌外科 部長 益戸 功彦 先生
		甲状腺穿刺吸引細胞診後の 一過性甲状腺腫大の一例	発表者	横浜市立大学附属病院 外科治療学 乳腺・甲状腺外科 船岡 健太郎 先生
		穿刺吸引細胞診による頸部 出血で喉頭浮腫を来たし 緊急手術を要した1例	発表者	伊藤病院 外科 吉岡 佳奈 先生
		日本乳腺甲状腺超音波医 学会による甲状腺超音波ガイ ド下穿刺診断専門資格の概 要と甲状腺穿刺の医療安全	座長	座長 昭和大学横浜市北部病院 甲状腺センター 准教授 福島 光浩 先生
			演者	福島県立医科大学 医学部 臨床検査医学講座 主任教授 志村 浩己 先生
第20回	2024年1 月24日	症例報告	座長	横浜市立大学附属市民総合医療センター 乳腺・甲状 腺外科 助教 戸田 宗治 先生
		オンコマインで NTRK 融合 遺伝子が検出された甲状腺 乳頭癌の1例	演者	神奈川県立がんセンター 内分泌外科 角谷 芽依 先 生
		当センターにおける甲状腺癌 に対する遺伝子パネル検査の 現状	演者	昭和大学横浜市北部病院 外科・甲状腺センター 講 師 大桑 恵子 先生
		甲状腺結節遺伝子テストの 実践的使用 2024	座長	北里大学病院 乳腺・甲状腺外科 准教授 加藤 弘 先生
			演者	Clinical Associate Professor of Medicine, University of Washington 遠藤 麻由美 先生

第 21 回	2024 年 7 月 24 日	症例報告	座長	昭和大学横浜市北部病院 甲状腺センター内科 准教授 國井 葉 先生
		サブクリニカル Cushing 症候 群術後に亜急性甲状腺炎を 繰り返した一例	演者	昭和大学藤が丘病院 内科（糖尿病・代謝・内分泌） 西川 雄人 先生
		甲状腺眼症が顕著であり甲 状腺全摘術を施行した Basedow 病の一例	演者	昭和大学横浜市北部病院 甲状腺センター内科 児玉 恵理子 先生
		甲状腺眼症の治療の現状と 新薬に期待すること	座長	昭和大学藤が丘病院 内科（糖尿病・代謝・内分泌） 准教授 大塚 史子 先生
			演者	オリンピア眼科病院 副院長 神前 あい 先生